**【論点】**

**デューイは、数多くある「職業」という単語をどのような意味として捉えて用いているのか。**

**それらの単語の関係性を図にすると、デューイの理想の「教育の職業的側面」の在り方はどういうものだといえるだろうか。**

【論点に至った流れ】

今回の範囲の第23章では、「職業」や「仕事」などと訳すことのできる単語が多く使用されていた。

例）vocation, calling, occupation, labor, work, trade, profession, employment, pursuits, business, career

さらに、第23章においては、ある単語が特定の場所に集中して「職業」のようなものを表す単語として使われていることがあり、班は、デューイが意図的にこれらの単語を使い分けているため、単純に「職業」や「仕事」と日本語に訳してしまうのは良くないのではないか、という考えに至った。

例）p.298 ll.1-2

The only adequate training for **occupations** is training through **occupations**.

直訳：仕事への唯一適切な訓練とは、仕事を通しての訓練である。

BUT デューイは他の場所で、職業への準備教育は直接的にではなく、間接的に行うことの重要性を指摘している。

辞書でoccupationを調べると、

[リーダーズ英和辞典　第2版]

occupation (n) 1. 従事すること、活動、仕事、時間の過ごし方；つとめ、職業、生業

 　　　 2. 占有；占有権

[ジーニアス英和辞典]

occupation 名 ① 職業、仕事、職、業(種)

 　　　 ② (土地・家などの)占有権、居住；(軍隊による)占領、占拠

 　　　 ③ (仕事・趣味などとして)従事すること、暇つぶしの仕事

→「仕事」を通しての訓練ではなく、「活動」や「従事すること」などといった意味での「仕事」を通した訓練という風に解釈したほうが、デューイのこれまでの教育論を考えても当てはまりそうなのではないか？

そこで！

デューイの用いている「職業」や「仕事」と訳すことのできる単語の意味をデューイの記述から考え、それらの関係性を整理することで、デューイの理想とした「教育の職業的側面」の在り方を理解できるのではないかと考えた。

【論点の進め方】

①デューイの用いている「職業」や「仕事」と訳すことのできる単語の意味をデューイの記述から考え、それらの関係性を整理する。

★今回は、以下の6つの単語について考えて関係性を整理していきたいと思います。

vocation, calling, occupation, labor, work, trade

★各単語に対するデューイの記述

**◆vocation**

* So deeply entangled are these philosophic dualisms with the whole subject of **vocational** education, that it is necessary to define the meaning of **vocation** with some fullness in order to avoid the impression that an education which centers about it is narrowly practical, if not merely pecuniary. (p.294 ll.28-32)

このような哲学上の二元論は**vocational**教育全体と非常に深くからまり合っているので、職業を中心とする養育が、単なる金銭上の物ではないとしても、狭い意味で実践的である、という印象を避けるために、**vocation**の意味をいくらか詳しく定義することが必要になる。

* A **vocation** means nothing but such a direction of life activities as renders them perceptibly significant to a person, because of the consequences they accomplish, and also useful to his associates. (p.294 ll.32-35)

**vocation**とは、成し遂げられる諸結果のゆえに、ある人にとってたしかに有意義なものとなり、また、彼の仲間にとっても有益なものとなるような、生活の活動の一方面を意味するにすぎない。

* We must avoid not only limitation of conception of **vocation** to the occupations where immediately tangible commodities are produced, but also the notion that **vocations** are distributed in an exclusive way, one and only one to each person. (p.295 ll.8-11)

われわれは、**vocation**という概念を、直接目に見える財貨を生産するoccupationsに限定することをさけるだけでなく、**vocations**が排他的に各人にただ一つだけ割り当てられているという考えも避けなければならない。

* We naturally name his **vocation** from that one of the callings which distinguishes him, rather than from those which he has in common with all others. (p.295 ll.24-27)

彼が他のすべての人々と共通にもっているcallingsよりも、むしろ彼を特徴づける一つのcallingsの名をとって彼の**vocation**の名とするのは当然のことである。

* …we should not allow ourselves to be so subject to words as to ignore and virtually deny his other callings when it comes to a consideration of the **vocational** phases of education. (p.295 ll.27-29)

…教育の**vocational**側面を考察することになったときには、彼のもろもろのcallingsを無視し、事実上否定するほどまでに、言葉に支配されてはならないのである。

* (ii) As a man's **vocation** as artist is but the emphatically specialized phase of his diverse and variegated **vocational** activities, so his efficiency in it, in the humane sense of efficiency, is determined by its association with other callings. (p.295 ll.30-33)

(ii)ある人の芸術家としての**vocation**は、彼の多種多様な**vocational**活動の著しく特殊化された側面にすぎないのだから、その職業における彼の能力―能率という語の人間的な意味での能力―は、それと他の諸々のcallingsとの関連によって決まるのである。

* There is doubtless—in general accord with the principle of habit—a tendency for every distinctive **vocation** to become too dominant, too exclusive and absorbing in its specialized aspect. (p.295 l.27-p.296 l.3)

確かに―習慣の基本的性質におおよそ一致して―、あらゆる特殊な**vocation**は、あまりにも支配的になり、あまりにも排他的で、その特殊化された面に集中するようになりがちである。

* The dominant **vocation** of all human beings at all times is living – intellectual and moral growth. (p.298 ll.5-7)

すべての時代のすべての人のもっとも大事な**vocation**は、生きること―知的および道徳的成長―である。

* When educators conceive **vocational** guidance as something which leads up to a definitive, irretrievable, and complete choice, both education and the chosen **vocation** are likely to be rigid, hampering further growth. (p.299 ll.9-12)

教育者たちが、**vocational**指導を最終的な、元に戻せない、完全な選択に達するものと思うときには、教育も、その選ばれた**vocation**も、固定したものとなって、その後の成長を阻害することになりやすいのである。

* … there is danger that **vocational** education will be interpreted in theory and practice as trade education: as a means of securing technical efficiency in specialized future pursuits.(p.303 ll.35-38)

…**vocational**教育が、理論においても実践においても、trade教育と解釈される、すなわち将来の特殊な仕事の専門技術的能力を獲得する手段と解釈される、という危険が存在するのである。

* …an education which acknowledges the full intellectual and social meaning of a **vocation** would include instruction in the historic background of present conditions; training in science to give intelligence and initiative in dealing with material and agencies of production; and study of economics, civics, and politics, to bring the future worker into touch with the problems of the day and the various methods proposed for its improvement. (p.306 ll.14-21)

…**vocation**の知的及び社会的意味を満足に認める教育は、現在の状況の歴史的背景の伝授、生産の材料と作用とを処理する知性と独創力を与える科学による訓練、さらに、将来の労働者を、その時代の問題や、それを改善するために提案されたいろいろな方法に触れさせるための経済や公民や政治の学習を含むだろう。

**◆calling**

* In the first place, each individual has of necessity a variety of **callings**, in each of which he should be intelligently effective; and in the second place any one occupation loses its meaning and becomes a routine keeping busy at something in the degree in which it is isolated from other interests. (p.295 ll.13-18)

第一に、各人は、必ず、さまざまの**callings**をもっており、それらのおのおのにおいて、彼は理知的に有能であるべきであり、第二に、どの一つのoccupationも、それが他の関心ごとから孤立していればそれだけ、その意味を失い、何事かにただ機械的に忙しく立ち働いているだけのことになるのである。

* One has discovered in himself, say, an interest, intellectual and social, in the things which have to do with engineering and has decided to make that his **calling**. (p.298 l.40-p.299 l.3)

ある人が、工学に関する事柄への知的および社会的な興味が自分にあるのに気づいて、それを自分の**calling**とすることに決めたとしよう。

* Sentimentally, it may seem harsh to say that the greatest evil of the present régime is not found in poverty and in the suffering which it entails, but in the fact that so many persons have **callings** which make no appeal to them, which are pursued simply for the money reward that accrues. (p.304 ll.28-32)

感傷的になると、現行の制度の最も大きな害悪は、貧困やそれに伴う苦しみにあるのではなく、あまりにも多くの人々が彼らにとってまったく魅力のない**callings**に就いており、それらの職業がただそれによって生ずる金銭報酬のためだけに営んでいる、という事実にあるというのは厳しい言い方に聞こえるかもしれない。

**◆occupation**

* **Occupation** is a concrete term for continuity. (p.295 ll.3-4)

**occupation**は、連続性を表す具体的な用語である。

* An **occupation** is the only thing which balances the distinctive capacity of an individual with his social service. (p.296 ll.13-15)

**occupation**は個人の独特な能力を彼の社会的奉仕に調和させる唯一のものである。

* A right **occupation** means simply that the aptitudes of a person are in adequate play, working with the minimum of friction and the maximum of satisfaction. (p.296 ll.19-21)

正しい**occupation**とは、ある人の才能が十分に活動しており、最小限の摩擦と最大限の満足を伴って働いているということである。

* An **occupation** is a continuous activity having a purpose. (p.297 l.6)

**occupation**とは、目的をもつ連続的な活動である。

* Education through **occupations** consequently combines within itself more of the factors conductive to learning than any other method. (p.297 ll.7-9)

**occupation**を通じての教育はほかのどんな方法よりも学習を促す要素をたくさんその内部に結合しているのである。

* In short, an **occupation**, pursued under conditions where the realization of the activity rather than merely the external product is the aim, fulfills the requirements which were laid down earlier in connection with the discussion of aims, interest, and thinking. (p.29 ll.16-20)

…**occupation**は単なる外的成果よりも、むしろ活動の実現が目標であるような状況かで遂行されるのであるから、前に目的、興味、思考について論じたときにそれに関連した必要条件を満たしているのである。

* He unconsciously, from the motivation on his **occupation**, reaches out for all relevant information, and holds to it. (p.297 ll.29-30)

彼は無意識に、自分の**occupation**に動機付けられて適切な情報をすべて獲得しようとつとめ、それをしっかり覚えておく。

* The only adequate training for **occupations** is training through **occupations**. (p.298 ll.1-2)

**occupations**への唯一の適切な訓練は、**occupations**を通じての訓練である。

* The only alternative is that all the earlier preparation for vocations be indirect rather than direct; namely, through engaging in those active **occupations** which are indicated by the needs and interests of the pupil at the time. (p.298 ll.30-33)

それに代わるべきただ一つの方法は、初期のvocationsへの準備教育をすべて直接的であるよりもむしろ間接的なものにすること、すなわち、生徒のその時の要求や興味が必要とする活動的**occupations**に従事させることを通して行うことである。

**◆labor**

* …a mental review of the intellectual presuppositions underlying the oppositions in education of **labor** and leisure, theory and practice, body and mind, mental states and the world, will show that they culminate in the antithesis of vocational and cultural education. (p.294 ll.17-21)

…教育における、**labor**と閑暇、理論と実践、身体と精神、精神の状態と外界との対立の基礎をなしている知的前提を頭の中で再吟味すれば、それらの対立がついにはvocational教育と教養教育の対立に達することが明らかになるだろう。

* The schools devoted themselves to the three R’s in the degree in which ability to go through the forms of reading, writing, and figuring were common elements in all kinds of **labor**. (p.299 ll.27-30)

読み、書き、計算の仕方を一通りこなす能力があらゆる種類の**labor**の共通となる要素となるにつれて、学校は読み書き算に専念するようになったのである。

* …only those things were named vocations or employments which involved manual **labor**, **laboring** for a reward in keep, or its commuted money equivalent, or the rendering of personal services to specific persons. (p.299 l.38-p.300 l.2)

…筋肉**labor**とか、生活費つまり**laboring**の対価としての賃金という報酬のための**laboring**とか、特定の人に召使として奉仕することを必要とする**laboring**だけが、vocationとか職(emoloyment)と名づけられていた…

**◆work**

* It is conventional and arbitrary view which assumes that discovery of the **work** to be chosen for adult life is made once for all at some particular date. (p.299 ll.18-22)

大人になってからの生活のために選択されるべき**work**の発見は、ある特定の日に、ただ一回だけで最終的に決定される、と考えるのは、因習的な独断的見解である。

* …it is largely, especially in the most advanced **work**, training for the calling of teaching and special research. (p.300 ll.20-21)

…特に最も高度な**work**において、それ（＝高等教育機関における準備教育）は主に教授や専門的な研究というcallingのための訓練である。

* The burden of realizing the intellectual possibilities inhering in **works** is thus thrown back on the school.

（産業の仕事が、以前よりも大きな知的内容をもち、はるかに大きな教養的可能性を持つようになった…）それゆえ**works**に内在する知的な可能性を実現することが、学校に求められることになる。

* …the passage from play to work should be gradual, involving not a radical chance of attitude but carrying into **work** the elements of play, plus continuous reorganization in behalf of greater control. (p.303 ll.8)

…遊びから**work**への推移は、漸進的であるべきであって、態度の急激な変化を含まずに、遊びの諸要素を**work**の中に移しこみ、しかもより大きな統制力が得られるように連続的改造が行われるようにしなければならないのである。

**◆trade**

* Taking its stand upon a dogma of social predestination, it would assume that some are to continue to be wage earners under economic conditions like the present, and would aim simply to give them what is termed a **trade** education—that is, greater technical efficiency. (p.305 ll.5-9)

その計画（＝狭く考えられている現状の職業教育）は社会的予定説に立脚しており、現在のような経済状況の下では、あるものはいつまでも賃金労働者であり続ける運命になっているということを前提とし、彼らに**trade**教育と呼ばれているもの―すなわちより効率の高い技術―だけを与えようとするだろう。

【関係性の図】

|  |
| --- |
| デューイ的に理想デューイ的に現実 |

②整理した上で、デューイの理想とした「教育の職業的側面」の在り方について考える。